

1. 磁場 B のもとで、磁気モーメントの z (磁場方向) 成分として $\mu, -\mu$ を取り得る粒子 N 個からなる系を考える。このとき、粒子のエネルギーは磁場によってそれぞれ $\mu B, -\mu B$ だけ変化する。カノニカル分布の考えを用いてこの系の分配関数を求め、自由エネルギー、エントロピー、比熱および磁化を求めよ。
2. 理想気体のモデルとして、一辺 L で体積 $V = L^3$ の立方体の容器中に閉じ込められた量子力学的な粒子を考える。
 - (a) まず、1 粒子について考える。波動関数 $\psi(x, y, z; t)$ の周期的境界条件 (例えば $\psi(x + L, y, z; t) = \psi(x, y, z; t)$) より、運動量 \mathbf{p} と 1 粒子エネルギー ϵ のとりうる値を示せ。
 - (b) 1 粒子エネルギー ϵ より小さい量子状態の数 $\Omega(\epsilon)$ を求めよ。 $\Omega(\epsilon)$ は運動量空間における半径 $\sqrt{2m\epsilon}$ の球内部に含まれるとりうる \mathbf{p} の数に相当する。
 - (c) 独立な N 粒子系におけるエネルギー E のとりうる値を示せ。
 - (d) N 粒子系における $\Omega(E)$ を求めよ。ただし、 n 次元空間における半径 R の球の体積は $V_n(R) = \frac{2\pi^{n/2}}{n\Gamma(n/2)} R^n$ ($\Gamma(z)$ はガンマ関数) である。
 - (e) エネルギーが E と $E + \Delta E$ の間にある状態密度 $W(E) = \frac{d\Omega(E)}{dE} \Delta E$ より、エントロピー $S = k_B \log W(E)$ を求めよ。ただし、量子力学的要請から、粒子同士は区別できないことに注意せよ。

数学公式

スターリングの式 $\log N! \simeq N(\log N - 1)$

ガンマ関数 $\Gamma(n+1) = n!$, $\Gamma\left(n + \frac{1}{2}\right) = \frac{(2n)!}{2^{2n} n!} \sqrt{\pi}$ (n は整数)

ガウス積分 $\int_{-\infty}^{+\infty} e^{-ax^2} dx = \sqrt{\pi/a}$

1 粒子分配関数 $z = \sum_i^n e^{-E_i/k_B T}$

以上